

T H E Y A K U J I N I P P O

薬事日報 薬学生新聞

<http://www.yakuji.co.jp/>

発行:株式会社薬事日報社
 東京本社 〒101-8648
 東京都千代田区神田和泉町1
 TEL.03-3862-2141
 FAX.03-5821-8757
 大阪支社 〒541-0045
 大阪市中央区道修町2-1-10
 TEL.06-6203-4191
 FAX.06-6233-3681

“長期実務実習”に対する 考えや要望などを発表

薬学生のためのサテライトシンポジウム「薬学生が考える薬剤師ルネサンスー長期実務実習への期待」が、神戸市内で開催された第40回日本薬剤師会学術大会で開かれ、総勢10人におよぶ現役学生・院生が長期実務実習への期待について発表した。特に4年制修士課程の長期実習経験者からは、服薬指導を含め患者とのコミュニケーションが経験できる場を求める意見が多く、知識よりも“現場ならではの経験”に期待を寄せていた。中には実務実習の長期アドバンスコース設定の提案もあった。一方、6年制第1期生からは社会、チーム医療の中での薬剤師の役割や魅力について示唆が得られるような内容に期待が寄せられた。

学生の意見発表の後、薬大教員、病院薬剤師、開局薬剤師らと交えたディスカッションが行われた。この中で高橋幸一氏（武庫川女子大教授）は「非常にモチベーションの高い学生が多い印象を受けた。大学側、学生側ともに6年間、その意識を持続させていく方策を進めていくことが必要」と感想を述べた。また、濱口常男氏（兵庫県病院薬剤師会常任理事）からは、「実務実習を効率的に行うためには、大学や薬局との連携が必要不可欠なことも分かった」との意見が示された。

フロアの学生からは「実務実習では何をしたら重要ではなく、どういう心構えで取り組んだかが重要だと考えている」との意見が出された。これに対し壇上の発表者からは「知識の勉強は大学で修得するものだが、意識は現場で患者や薬剤師と接することで高まる」（京都薬大・西見牧里子さん）。「現場で初めて患者を意識することができた。患者を意識する実習にするためには高いモチベーションが必要」（神戸学院大・奥貞佳奈子さん）。「国試受験前と後では実習に対するモチベーションが違う。知識を修得した上でモチベーションを保つ姿勢が大事」（近畿大・高岡香保理

さん）。「実習では体験できることが多ければ感じることも多い。ある程度実習先で内容を充実したほうが学生のためになる」（武庫川女子大・野口久美子さん）など、それぞれの考え方が示された。

さらに、学生側から「実務実習時に服薬指導についても、積極的に取り組みたい」との意見が示されたが、高橋氏は「実際に薬剤師免許取得後でもすぐに服薬指導に従事するのは難しい。法律上の問題もあり、大学側としては慎重にならざるを得ない」と答えた。一方、薬局薬剤師の立場で発言した須田千世氏からは、「参加型実習として、患者さんの了解を得た上で取り返しのつく範囲での服薬指導であれば個人的には可能だと考えている」とする柔軟な意見も出された。

オーガナイザーとして参加した日本薬剤師



薬学生によるサテライトシンポジウム全景（実務実習への期待について多くの意見が学生から示された）

会副会長の児玉孝氏からは「いずれにしても法律の問題。実際の長期実務実習が始まるまでに、きちっとした線引きを行うことが必要になる」との見解が示された。

また、日本薬剤師会「実務実習に関する特別委員会」委員長を務める瀧川秀樹氏からは、参加学生の様々な意見を踏まえ「モデルコアカリキュラムを全学生均一的に教えるのではなく、この学生には何が必要かということを見極めて、重点的に教えていただきたいと思う。自らが何を教えたかではなく、学生が何をできるようになったかに注目して2・5カ月の指導をお願いしたい」と述べ、実務実習指導薬剤師に向け、学生の立場への配慮を求めた。

CONTENTS

- ・ズームアップー寺崎哲也東北大学薬物送達学教授 4
- ・進化するサイバーキャンパスー明治薬科大学 5
- ・新シリーズ「学校薬剤師の仕事」 10
- ・キャンパス紹介ー北海道薬科大学 12

www.wingmedical.com

薬剤師のための就職・再就職支援

キャリアデザイン応援します

ウイングメディカルは、最新のネットワークと経験を兼ね備えたシステムで職業紹介、人材派遣から採用後のフォローまで、しっかりあなたをサポートします。幅広い人材の条件にあったキャリアプランをご提案いたします。



厚生労働大臣許可 紹介No.13-ユ-040135 派遣No.般13-040416

Wing Medical

株式会社 ウイングメディカル
 本社/〒107-0062 東京都港区南青山5-6-26 TEL03-5485-7525 FAX03-3486-0777

フリーダイヤル / ☎ 0120-722-455
 青山・銀座・新宿・横浜・大阪・仙台